

# 水質浄化バクテリア製剤『アクアカルチャーR』

この製品はバイオ先進国アメリカで開発された水質改善用バクテリア製剤で、全世界のあらゆる水質浄化事業において高い実績を誇る大変優れた製品です。

独自に開発された（または特許取得済みの）βグルカン特殊マイクロカプセルにより、アクアカルチャーRの特殊酵素と活性の高い第一世代のバクテリアは休眠状態で保護されています。

この特殊製法により、水中に投入されると同時に保護膜が溶け、バクテリアが急速に活性、細胞分裂を始めることで今までに類を見ない即効性を可能にしました。

水槽内に定着したバクテリアは20分に一度細胞分裂を繰り返し水中の有機物を速やかに分解し、水の透明度を保持し悪臭を防ぎます。

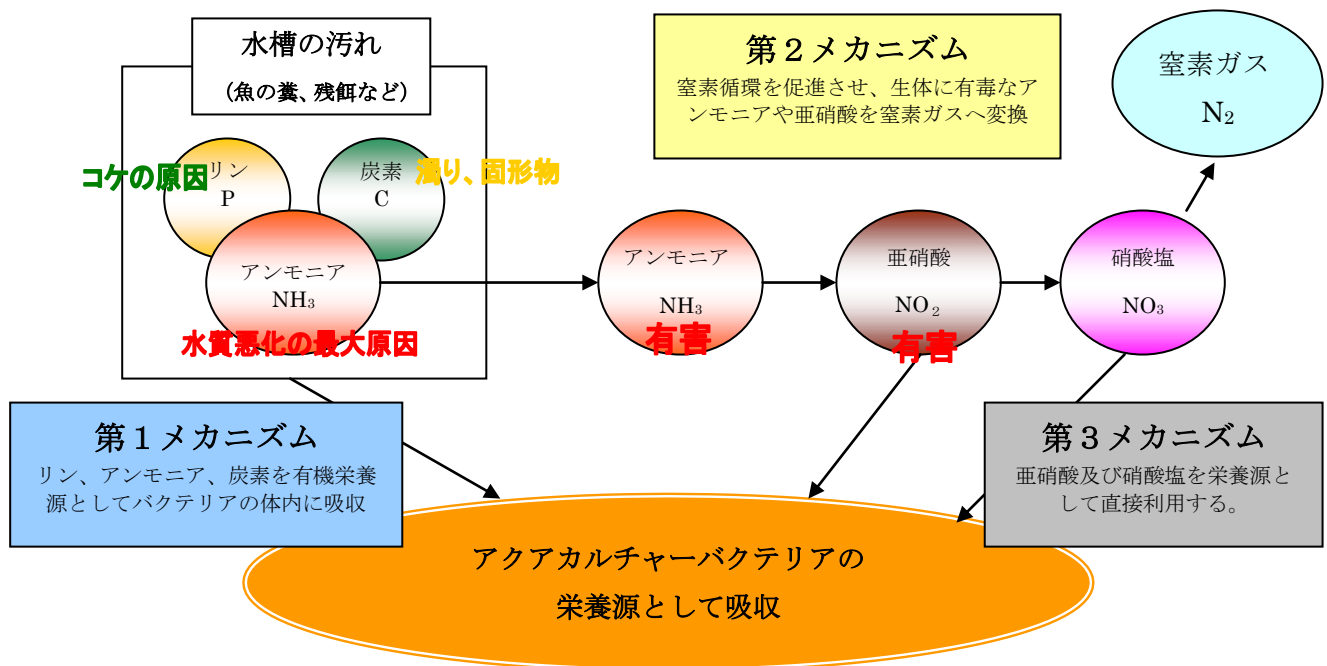
水セット時やメンテナンスに最適で、淡水、海水を選ばず使用できます。まさに自然界における有機分解のサイクルを池や水槽内で簡単に再現することが出来ます。

## ・微生物（有用土壌菌）

自然界に生息する有用土壌菌を特殊マイクロカプセルにより休眠状態で保存することにより、高い品質と安定性を実現しました。このバクテリアはATCCによりクラス1の安全な微生物にランクされ、FDA(米国食品医薬品局) GRAS(General Regarded as Safe)という極めて安全なクラスに分類されています。

また日本の農林水産省により基金援助されたフィリピンのSEAFDEC（東南アジア漁業開発センター）における最高実績バイオ商品として認定されています。

## アクアカルチャーRの3つのメカニズム



## 製品特徴

- アンモニア、亜硝酸等の窒素化合物を分解
- 水のにごりを防止
- 悪臭を防止
- コケを防止
- 生体のストレス軽減と成長促進
- 水替えの回数が減少
- 魚のストレスを軽減し、病気の予防
- 天然微生物は魚や環境に安全

※水量、生体（魚）の数、給餌量、水温により効果に差があります。

## 池での使用方法

### 【目安使用量】

**初期処理** : 池の水量 1,000 ガロン (3,785L) ごとに、14.2g を池の水 1.8L に溶かした後、池全体に散布します。

**メンテナンス** : 初期処理後効果が現れはじめたら、池の水量 1,000 ガロン (3,785L) ごとに、4.8g (初回投入量の 1/2~1/3) を池の水 0.5L に溶かした後、池全体に散布します。

※初期処理（初回投入）後、1週間経過した時点で効果が現れなければ、初期処理量を効果が現れるまで週1回のペースで初期処理を繰り返して下さい。

その後、効果が現れはじめれば、メンテナンスとして週に1回のペースで継続投入して下さい。

- 使用量はあくまでも目安です。水質、生体（魚）の数や大きさ、水の流入・流出量により異なります。状況により使用量や使用頻度を加減して下さい。
- エアレーションを行うとバクテリアの効果が高まります。
- コイなどの生体がいる池は、水の汚れがひどい場合バクテリアの活性により、一時的に溶存酸素量が減り、酸欠になる可能性がありますので、エアレーションを入れるか、もしくは池の水をいったん入れ替えた後、使用を開始して下さい。
- 池の水深が浅く、直射日光が当たる池の場合、効果が現れるまで時間がかかる場合があります。

## 水槽での使用方法

- 水槽に入れる時は、40～60Lに対し、1～2gを目安に使用してください。その後は、初回投入量の半分の量を1～2週間に一度の割合で使用して下さい。
- 使用量はあくまでも目安です。生体（魚）の数や大きさにより使用量や使用頻度を加減して下さい。
- 初めて使用する場合は、水槽及びフィルターの清掃後、ご使用を開始してください。
- エアレーションは必ず行って下さい。
- 水の状況により、白にごり（魚や環境に無害）する場合があります。2～3日で白にごりが取れない場合は1/3～1/2程度水替えを行って下さい。
- 殺菌灯は、使用開始から24時間は停止して下さい。
- 水の汚れが多い場合、バクテリアが汚れを分解する過程において溶存酸素を消費し、一時的に酸欠状態になる可能性があります。水槽でご使用の際は、エアレーションの使用をお勧めします。

## 使用上の注意

- 用途以外に使用しないで下さい。
- 飲んだり食べたりしないで下さい。
- 直射日光や湿気を避け、開封後は完全にシールして保存し、早めに使いきって下さい。
- 他の薬剤との併用は避けて下さい。
- 子供の手の届かないところへ保管して下さい。
- 天然素材のため製造時期により、色や香りが異なる場合がありますが、品質に問題ありません。